［13］古文1［トレーニング］古文のきまりを学ぶ

［練習1］　歴史的仮名づかいによる次の五十音図の空欄に文字を補って、図を完成させなさい。（12点）

あ行　あ　（　　　） う　 （　　　） お

は行　は　（　　　）（　　　）（　　　）（　　　）

や行　や　（　　　） ゆ （ ） よ

わ行　わ　（　　　） う　　 （　　　） を

ワ行　ワ　（　　　） ウ　　 （　　　） ヲ

［練習2］　次の語の読み方を、現代仮名づかいに直して答えなさい。（1点×8）

①こゑ（声）　　　（　　　　　）

②をとこ（男）　　（　　　　　）

③よろづ（万）　　（　　　　　）

④おもひ（思ひ）　（　　　　　）

⑤くわじ（火事）　（　　　　　）

⑥いふ（言ふ）　　（　　　　　）

⑦てふてふ（蝶々）（　　　　　）

⑧あふぎ（扇）　　（　　　　　）

［練習3］　次の①～④の問いに答えなさい。

①次の単語の品詞と意味を古語辞典を使って調べなさい。（1点×6）

・つとめて　品詞（　　　　　）　意味（　　　　　　　　　）

・いと　　　品詞（　　　　　）　意味（　　　　　　　　　）

・ののしる　品詞（　　　　　）　意味（　　　　　　　　　）

②次の文の空欄に助詞を補いなさい。（2点×2）

・昔、男（　　　）ありけり。

・（　　　）たたく音もせず。

③次の文の「こそ」の結びの語を抜き出して答えなさい。（2点）

少し春あるこそすれ。　　（　　　　）

④後のヒントを参考にして、次の文を現代語訳しなさい。（2点）

花をかしく咲きけり。（ヒント：をかしく→趣深く、けり→過去の助動詞「～た」）

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

【解答】

［練習1］（傍線部分が答え）　　12点

あ　い　う　え　お

は　ひ　ふ　へ　ほ

や　い　ゆ　え　よ

わ　ゐ　う　ゑ　を

ワ　ヰ　ウ　ヱ　ヲ

［練習2］　　1点×8

①こえ　　　②おとこ　　③よろず

④おもい　　⑤かじ　　　⑥いう

⑦ちょうちょう　　　　　⑧おうぎ

［練習3］

①・つとめて＝名詞　　早朝・翌朝

・いと　　＝副詞　　たいそう

・ののしる＝動詞　　大騒ぎする　　1点×6

②（傍線部分が答え）

・昔、男がありけり。

・門をたたく音もせず。　　2点×2

③すれ　　2点

④花が趣深く咲いた。　　2点